

伐倒技術指導者の養成

(2024オープンカレッジ・プロジェクトシンポジウムから)

宮城県林業労働力確保支援センター情報提供・研修参加呼びかけ

依然としてチェーンソーによる伐倒作業中の災害が減らない状況

- (原因)
- 安全な手順・禁止行動の徹底不足
 - 伐倒の基礎的な技術の習得不足
 - 伐倒技術の指導人材の不足・体制不足

伐倒作業の安全を確保していくことが極めて重要な課題

宮城県林業労働力確保支援センターは県の委託を受け
みやぎ森林・林業未来創造カレッジ「伐倒技術指導者養成研修」を実施

- (内容)
- 伐倒の基礎技術を徹底して習得した上で、他者に伐倒技術を適確に指導できる人材を育成（3年間の養成コース）。
 - 3年目にコーチングを実践するための指導マニュアル（手順・注意点）を作成。
- 2年修了時に県が「伐倒技術指導員」に認定、登録

【受講者の声】

- ・伐倒作業の不正確さを確認でき、研修によって精度を高めることができた。
- ・現場や事業体が開催する講習会で上手く伝え、分かってもらえるようになった。